

男女共同参画と女性活躍のまちづくりをすすめています！

### あま市男女共同参画プラン

「いろいろな私でいいあなたでいいみんなが笑顔で生きるまち」を目標像に「第2次あま市男女共同参画プラン」を策定しました。この計画に基づき、あま市では様々な取組を実行しています。女性も男性も性別に関わりなく、個性と能力を発揮できる多様性に富んだまちを実現しましょう！



↑職員向け男女共同参画研修

### 啓発イベント

#### ● 家事等実践講座

「男性とお父さんのための料理講座」など、性別役割分担意識を解消して生活で役立てられる講座を開いています。

#### ● 交流会など

講演会や映画上映会、セミナーなど、お互い顔の見えるつながりの場を提供しています。「女性活躍情報誌」に掲載された方との交流会も。



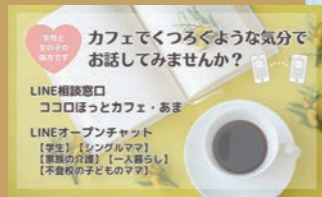
↑家事等実践講座



↑交流会での対話

### 女性のつながりサポート事業

コロナ禍以降、孤独になりがちな女性や悩みを抱える女の子を地域で支える取組です。プレママ交流サロンや、つながりLINE（個別相談窓口、オープンチャット）があります。リラックスして気軽にご参加ください。



### 高校生と大人たち、あま市で暮らす市民記者が取材しました！

今年で7回目となる女性活躍情報誌の取材をして記事を書いたのは8人の市民記者のみなさん。五条高校、美和高校に通う高校生とあま市在住在勤の大人たちが参画してくださいました。市民のみなさんが素敵だと感じた等身大の声でつくられた情報誌です。

#### ↓各チームの取材の様子



↑取材前に勉強会を実施

#### ↓取材後の振り返り



この情報誌へのご意見・ご感想をぜひお寄せください（上の二次元コードから）



# @ MyLife vol.7

あま市女性活躍情報誌

### テーマパークを目指して

歯科医院が苦手という人は多いですね。私には「歯科医院が笑顔で溢れる場所にしたい」という目標がありました。ある時、テーマパークで満面の笑みの子どもたちを見て「これだ!」と思いました。テーマパークのような歯科医院をつくろう。そんな思いでたくさんの工夫を考えています。

### 楽しく治療をするために

小さい頃は誰も王子様、お姫様に憧れますよね。なりたい自分になれるのはとても嬉しいこと。私はそこに目をつけました。ドレスアップして自信をつけ、治療してレベルアップする。そんな素敵な場所にするために、季節ごとに館内の装飾を変えたり、流行りのものを取り入れたり、ちょっとしたゲームなども用意しています。

スタッフにも楽しく過ごしてほしい。当院では、患者さんを「ゲスト」、スタッフを「キャスト」と呼んでいます。毎月みんなで楽しめるイベントも開催するんです。院内の雰囲気が明るくなり、ゲストを明るく楽しませることが出来ます。

### 私のお城の魅力

「ゲスト一人ひとりを大切に」を一番に考えています。ゲストとの信頼関係を築くため決して嘘やごまかしはしません。その子に合う方法を選び、イラストも使って分かりやすく、できるだけ怖がらせない説明をします。歯科医院が苦手でも納得して治療を受けてもらいたいのです。笑顔で来て笑顔で帰る、それを目標にこれからも努力していきます。

【プロフィール】あま市七宝町ワンダーデンタルクリニックにて副院長を務める。美容歯学普及協会東海支部会長。女性ドクターとして地域の「歯育」に取り組む。丁寧な説明、分かりやすい資料の提示で、子どもの頃の歯の健康が将来に大きく影響することを伝えている。

撮影場所/ワンダーデンタルクリニック  
市民記者/美和高校 竹越優里菜、霜田遥香、中野愛梨

太田さんの元気のワンポイント

私の魔法でみんなを笑顔に！！

笑顔のためにがんばり続ける

太田由佳さん

市民記者のヒトコト  
みんなを笑顔にするために努力している姿が、かっこいいと思いました。





# 世界の舞台への挑戦

よしだ さゆみ  
吉田 紗弓さん

## 五輪を目指す原点は「走ることが好き！」

小さな頃から負けず嫌いでした。楽しみながら走る機会がとて多かったと思います。大学4年時に国体にも出場。大学を卒業したら陸上競技から離れるつもりでした。走ることに意識が変わったのは、今のコーチと出会ってから。身体の動かし方の理論を学びながら、高校の陸上部で生徒に教えることで理解が深まり、苦手としていた400mのタイムが伸びてきました。五輪を目指す位置にいる実感が湧いてきて。400mで勝負し、理想の走りを追求しています。

## 未来の姿を想像し、とことん向き合う

教員も陸上も同時に続けていると、記録が伸び悩んでも「忙しいから仕方ない」と声をかけられることがありました。けれど、いつまで走れるか分からない…。この先オリンピックに挑戦できるかも分からない。「どうありたいのか」と問うと、胸を張って「夢や目標を持ってほしい」と言葉をかけられる人になりたいと思いました。そうして教員を辞め、パリ五輪出場への挑戦を決断しました。

## 挑戦しようとする気持ちを大切に

高校の教え子には、「目標」や「夢」を必ず聞いていました。夢は大きくても小さくてもいい。スタートラインに立つか否かが大きいと思っています。「友達がしているから」「テレビで面白そうだったから」など、きっかけはなんでも構いません。将来、また生徒達に「失敗してもいいからチャレンジすることが大事」と伝えていきたいです。

【プロフィール】立命館大学出身。卒業後、愛知高校教員、陸上部の顧問として指導していたが2022年に教員を辞職。パリ五輪出場を目指す。陸上選手のかたわら、クレインスポーツアカデミーのインストラクターとしても活躍中。

撮影場所／七宝北中学校  
市民記者／衛藤麻耶、渡邊志保

### 市民記者のヒトコト

「走る」ことへの真っ直ぐな気持ちが伝わってきました！美容院でのリフレッシュが好きな一面も。



吉田さんの元気のワンポイント

走る！！

## 小さな出来事がお仕事に

私は、手話通訳士をしています。この仕事を始めたきっかけは、手話が必要な人と行政の窓口に行った時のこと。その時は何もお手伝いができず、自分がそこにいる意味を問われた気がして、手話を学んでみようと思いました。些細な出来事が、思いがけない将来に繋がることもあるんですね。

## 相手に向き合った表現

通訳する際には言葉通りに通訳するのではなく、背後の意図を汲み取ることを心がけてきました。例えば当事者の個性や環境など、その人に合わせた通訳をするよう日々努力しています。よく知らない話の通訳は大変ですが、勉強の毎日で達成感も大きいです。また、みなさん聴覚障がい者は、一方的に助けられる立場だと思いませんか？私はお互いにできることをする対等な関係でありたい。その人の力を引き出し、通訳だけで終わらない本当の意味での援助を続けるために社会福祉士の資格も取りました。

## 相手とより良い「はなし」をするために

情報が目に見えるように「書く」ことも大切です。耳の不自由な人が相手なら、もちろん互いの話がより理解しやすくなりますよね。こうしたコミュニケーションでいいんだと、みなさんにも心にとめてほしいです。いろいろな情報を知ることがとても大切です。知ること、情報の共有やお話ができますから。どんなことでもいい！広く浅くてもいい！いろいろな情報に触れ、その中で手話についても知ってもらえると嬉しいです。

【プロフィール】手話通訳士、社会福祉士。約30年前から活動をしている。聴覚障がいを抱える人が気軽に交流できる市民活動団体「手話グループみわ」を運営。イベントで集めたお金を、被災地への寄付にあててきた。

撮影場所／美和総合福祉センター すみれの里  
市民記者／五条高校 西川原駿、天野沙耶、沼田碧衣子

有間さんの元気のワンポイント

色々なことを知ろう！！

# 気持ちを 汲み取る手話で 笑顔の関係づくり

ありま きみよ  
有間 貴美代さん



### 市民記者のヒトコト

積極的でとても優しく、まわりの人に真摯に向き合っていると感じました。

